

Direct-Information of Orienteering in Nippon

(公社)日本オリエンテーリング協会 理事会・事務局便り

第一号 (2017年1月4日発行)



新年明けましておめでとうございます。日本でオリエンテーリングがスタートして50年が過ぎました。後半世紀がスタートする2017年の念頭に、メールマガジン「DIRECTION」をお届けします。このメールマガジンは事務局や理事会での討議事項や処務の状況をできるだけ早く、会員・登録者の皆様にお知らせするものです。当面、2ヶ月に1回の頻度で発行を予定しています。

●本号の内容

- ・ 財政改革の状況と会員支援について
- ・ JOA Navigation Games 2016 について
- ・ 50周年記念事業
- ・ 2021 マスターズゲームズについて
- ・ ナヴィゲーション・インストラクターについて
- ・ 第43回全日本オリエンテーリング大会について
- ・ 日体協指導員制度の検討 (事務局)
- ・ 全日本選手権に、スポーツ長官賞授与 (事務局)
- ・ 主催、会員主催講習会情報・報告 (事務局)
- ・ 今後の理事会・事務局の動向
- ・ 編集後記

●財政改革の状況と会員支援について

本年度、競技者の皆様、JOA 都道府県協会会員の皆様に大きなご負担をお願いしてすすめてまいりましたJOA 財務改革の状況をお知らせします。財務改革の主要3項目の実施状況と途中経過は以下の通りです。

① JOA 年会費からの組織育成費支給を廃止する。

都道府県協会会員の会費の半額を組織育成費として一律に支給していましたが、この支給を廃止し代わりに支援が必要な会員からの要請に応じて支援を行うようにしました。この結果13の会員から支援要請があり、規定に基づき10の会員に支援を行っています。

この支援金は、公認大会に会員支援費として上乗せしていただいたものを翌年度の財源としています。今年は開始初年度で前年度の支援費は殆どありませんので多くはJOAからの支援金となります。また、支援金の収集方法につきましては、多くのご意見いただきましたので見直しをいたします。

② 競技者登録費を値上げする。

学生、高校生以下を除く一般のかたの競技者登録費を年間2,000円から5,000円に大幅に値上げしました。ご協力ありがとうございました。多くの方のご理解もあり、懸念した競技者登録の減少はありませんでした。

登録者数の変化(2016年10月)

	競技者登録者数(人)				
	総数	一般	学生	高校生	小中学
2016年	2,132	670	1,218	151	93
2015年	2,079	666	1,245	74	95
増減	+53	+4	-27	+77	-2

③ 指導者年間登録費からの組織育成費の支給を廃止する。

指導者登録事務を本年度 JOA から都道府県協会会員に移すことにしたこともあり混乱を避けるため見送りました。

以上のことにより、目指していましたが JOA の基礎収入（会費、競技者登録費、指導者登録費）と固定経費（事務所経費、各上位団体加盟費、理事会の運営費(理事の交通費)など）とのバランスが取れる状況になり、大幅赤字による正味財産の減少は食い止めることができました。皆様のご協力に感謝します。

一方で、会員の支援には、金銭的な支援だけでなく協会活動を維持、活性化するための支援がまだ不十分です。今後は有効な支援策を探りながら実行していきたいと考えています。また、競技者登録された競技者にメリットのある施策を実施し競技者登録者数の増加に努めてまいります。

●JOA Navigation Games 2016 について

2016 シリーズは 23 大会が対象となっており、2016 年 12 月末までに 21 大会が終了しました。ここまでの対象参加者はのべ 2966 名となりました。2017 シーズンも同様に Navigation Games のシリーズ戦を行います。

この事業は、ロゲイニング競技を広めることで、ナビゲーションスポーツの普及を図り、オリエンテーリング導入の窓口にするとともに、アウトドア界や社会全般の安全・健康づくりに貢献することを狙いとしています。

数年前に Navigation Games が始まったときは、まだまだロゲイニング競技が少なかったのですが、今ではオリエンテーリング競技に並ぶほど多くのイベントが開催されるくらいになりました。こうした変化を受けて、JOA のロゲイニング競技への関わり方も見直す時期に来ているのかも知れません。

シーズン	イベント数	ポイント対象者のべ人数
2013	10	2031
2014	17	2801
2015	26	3514
2016	23	2966 (中間数)

●50周年記念事業

2016 年度は、日本でオリエンテーリングがスタートしてから 50 周年にあたります（当時の実施名称は徒歩ラリー）。記念行事をいくつか開催してきましたが、その最後を締めくくるイベン

トとして、50周年記念シンポジウム「地図を手に明日へと駆ける」及び記念式典を開催することになりました。シンポジウムでは、スキーオリエンテーリングの日本代表選手の経歴もあり、グレートトラバース「日本百名山一筆書き」で有名な田中陽希さんに記念講演をしていただくほか、今年のマスターズで見事世界一に輝いた高橋厚さんなど各年代のオリエンティアにこれまでを振り返り、これからを展望していただくパネルディスカッションを行います。多くの方の参加をお待ちしています。

実施日時：2017年3月5日（日）シンポジウムとパネルディスカッション 12:30-15:00、
記念式典 15:30-18:00、

場所：アルカディア市ヶ谷(私学会館) 東京都千代田区九段北4-2-25

参加費：シンポジウムは無料、記念式典は10000円

詳しくは、JOAのウェブサイトをご覧ください。

http://www.orienteering.or.jp/archives/2016/1209_50-6.php

●2021 マスターズゲームズについて

2021年には関西地区で、4年に一度の世界マスターズゲーム（WMG）が開催されます。毎年開催される世界マスターズオリエンテーリング選手権（WMOC）はWMGの開催年には同時併催が行われ、毎回個人競技としてはWMG最大数の参加で賑わってきました。一方で、他組織との調整や財政上の課題から、IOFではWMGとWMOCの併催を前提としない方向で検討が進み、2021年のマスターズからこれを実施する見込みという情報を得ました。WMOCを併催しなければ、世界各国からの参加者募集にも問題が生じ、既に進んでいるWMGとの信頼関係にも影響することから、JOAとしてはIOFに対して変更方針を2021後に適用するように強く要望いたします。

海外を含む多くのオリエンティアの皆さんが、WMG2021の競技を楽しんでいただける環境づくりを、今後も進めていくよう、関係諸団体と協力していきます。

●ナビゲーション・インストラクター

オリエンテーリングの黎明期に多くの登山関係者が読図スキルの習得のためオリエンテーリングを始め、そのまま初期のオリエンテーリングを支える人材として活躍されました。今、山岳の分野では道迷い遭難が40%を占め、大きな問題となっています。JOAでは、上記のような経緯、イギリスの先進事例などを踏まえ、ナビゲーションスキルのアウトリーチ活動として、地図読み・ナビゲーションを一般の登山者・アウトドア活動者に提供できるナビゲーション・インストラクター（仮称）の準備を進めています。準備状況は国立登山研修所の年報にも取り上げられるなど、登山界からも期待を受けています。1月8-9日に、この認定制度のための研修会を開催します。

本制度の意義として、以下のような内容を想定しています。

- ・山岳遭難減少を含めた社会貢献
- ・オリエンテーリング界の蓄積を活用することでの、社会的評価の向上
- ・近隣領域との協働を通じた、オリエンテーリングの活性化
- ・トップアスリートの社会参画の場の創出

●第 43 回全日本オリエンテーリング大会について

第 43 回全日本オリエンテーリング大会は、2017 年 6 月 18 日（日）に、栃木県矢板市で開催します。この大会から全日本オリエンテーリング大会が変わります。詳しくは次号の JOA ニュースに掲載されますので、ご覧ください。

「生涯スポーツとしてのオリエンテーリングの祭典として、全ての年齢層の競技者の目標となる競技会を目指す。」これを実現するために、以下のように全日本大会は変わります。

- ・開催時期を 6 月ごろに設定します。
- ・大学生向けにインカレの代表選手を選ぶ、地区選考レースを同時開催します。
- ・開催地は多くの参加者の集まり易いことを重点に選定します。
- ・常に全日本大会は模索し、進化してゆきます。

●日体協指導員制度の検討（事務局）

現在、当協会の資格制度である「公認指導者(インストラクタ、ディレクタ 1.2 級)」を、(公財)日本体育協会「公認スポーツ指導者」制度へ移行するための準備を進めています。移行するための流れとして以下のように考えています。

1. 日体協の指導者制度との整合性の確認

ディレクタ 1 級 ⇒ 公認スポーツ上級指導者

ディレクタ 2 級 ⇒ 公認スポーツ指導者(但し、移行のための補講が必要)

インストラクタ ⇒ JOA の任意資格として残す。

2. 規程及びカリキュラムの見直し

現規程と合わないところもあるため、見直しを進めています。平成 29 年度中にとりまとめる予定です。平成 30 年度開始を目標としています。

現在の資格更新については、平成 29 年度は現行どおり行います。なお、日体協では資格制度の名称等の変更を提案してきています。詳細については移行を含め改めてご案内いたします。

●全日本選手権に、スポーツ長官賞授与（事務局）

一昨年 10 月にスポーツ庁が発足後、JOA では全日本大会において後援申請をしています。その際優勝者（チーム）にスポーツ庁から「長官賞」の授与が可能である旨の情報を得ましたので、申請をしたところ、受理され、全日本リレーにおいて、団体優勝した神奈川県が初の受賞となりました。今年も、6 月の全日本大会と、12 月の全日本リレー大会では長官賞を申請する予定です。長官賞を目指して頑張っていただければと思います。

●主催、会員主催講習会情報・報告（事務局）

1) コースプラン・安全管理講習会

12 月 23 日（祝）に、東京において表題の講習会を実施しました。よいコース作りと大会の安全は、オリエンテーリング大会成功の二本柱です。34 名の参加があり、「改めて勉強になった」と好評でした。来年度も、大会開催や競技、組織運営に役立つトピックの研修会を提供予定です。

2) シニア合宿

1月14-15日に、マスターズ世界選手権など海外の大会を目指すマスターズ世代のためのスキルアップ合宿を初めての試みとして開催します。主任コーチを強化指定選手であり、スウェーデン留学経験もある尾崎弘和さんにお願ひし、普段とはひと味違う練習を経験していただきます。

●今後の理事会・事務局の動向

1) 業務執行理事連絡会（1月末予定）

予算や事業計画の案を調整します。

2) 理事会（3月4日）

来年度の予算、事業計画を審議・承認します。

●編集後記

日本でのオリエンテーリングの後半世紀に向けて、JOA（理事会や事務局）の動きをダイレクトにお伝えするメールマガジンを発行することとしました。オリエンティアの皆様と一緒に日本のオリエンテーリング界を創っていくためのツールの一つとなれば幸いです（む）